

環境に関する市民意識調査

(令和7年度)

結果報告書

(一般市民アンケート)

令和7年9月

エヌエス環境株式会社

目 次

I. 調査の概要	1
II. あなた自身について	2
III. 環境に対する関心について	7
1. 環境問題に対する関心（現状評価・関心度）	7
2. 環境に関する情報の取得	8
IV. あなたの環境行動について	9
1. 環境に配慮した取組みの実施状況	9
2. 機器類等の導入状況・予定	10
V. 地域環境の満足度・重要度について	12
1. 現状の満足度	12
2. 今後の取組みの重要度	13
3. 過年度との比較	15
VI. 今後の市の取組みについて	16
VII. 生物多様性について	17
1. 生物多様性	17
2. 特定外来生物	17
3. 今後の取組み	18
VIII. 再生可能エネルギーについて	19
IX. 用語の認知度について	20
1. 米沢市ゼロカーボンシティ宣言	20
2. 米沢市プラスチックごみゼロ宣言	20
3. デコ活	21
X. ご意見・ご要望など（内容の類似する意見は一部省略）	22

I. 調査の概要

1. 調査の目的

第3期米沢市環境基本計画の計画期間が令和7年に終了することから、社会情勢の変化を踏まえ、現計画内容の全面的見直しを図り、より実効性のある計画を策定するため、市民の環境に対する意識や意見を把握し、計画策定の基礎資料とするとともに、今後の環境施策に反映させていくことを目的として実施した。

2. 調査対象及び抽出方法

住民基本台帳登録市民から無作為抽出した市民 1,100 名。

3. 調査内容及び調査方法

環境に関する意識等について（別紙調査票による）、郵送により発送・回収

4. 調査期間

令和7年7月1日～令和7年7月31日

5. 回収結果

対象	標本数	有効回収数	有効回収率 (%)
無作為抽出の住民基本台帳登録市民	1,100	322	29.3%

Ⅱ. あなた自身について

1. 回答者の属性

① 性別

性別の全体構成は「男性」が 45.3%、「女性」が 54.7%であった。

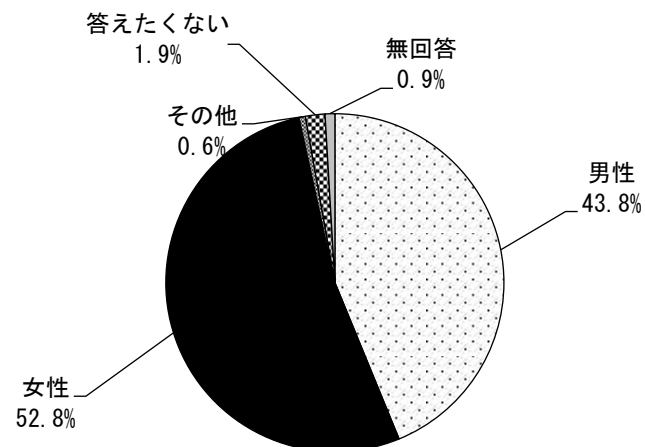


図 1 男女比（その他、答えたくない、無回答含む）

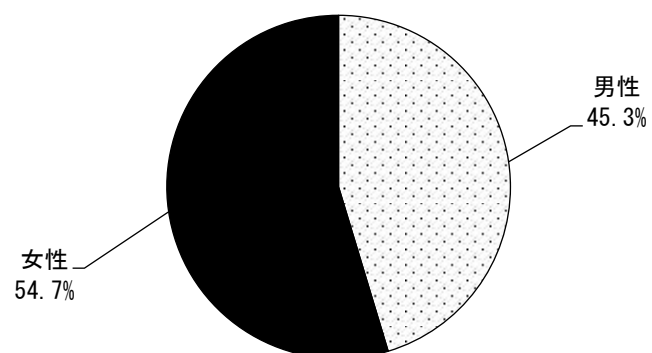


図 2 男女比（その他、答えたくない、無回答除く）

② 年代

年代は、50歳代以上が56%以上を占めていた。60歳代が最も多く23.6%、次いで50歳代が18.9%であった。

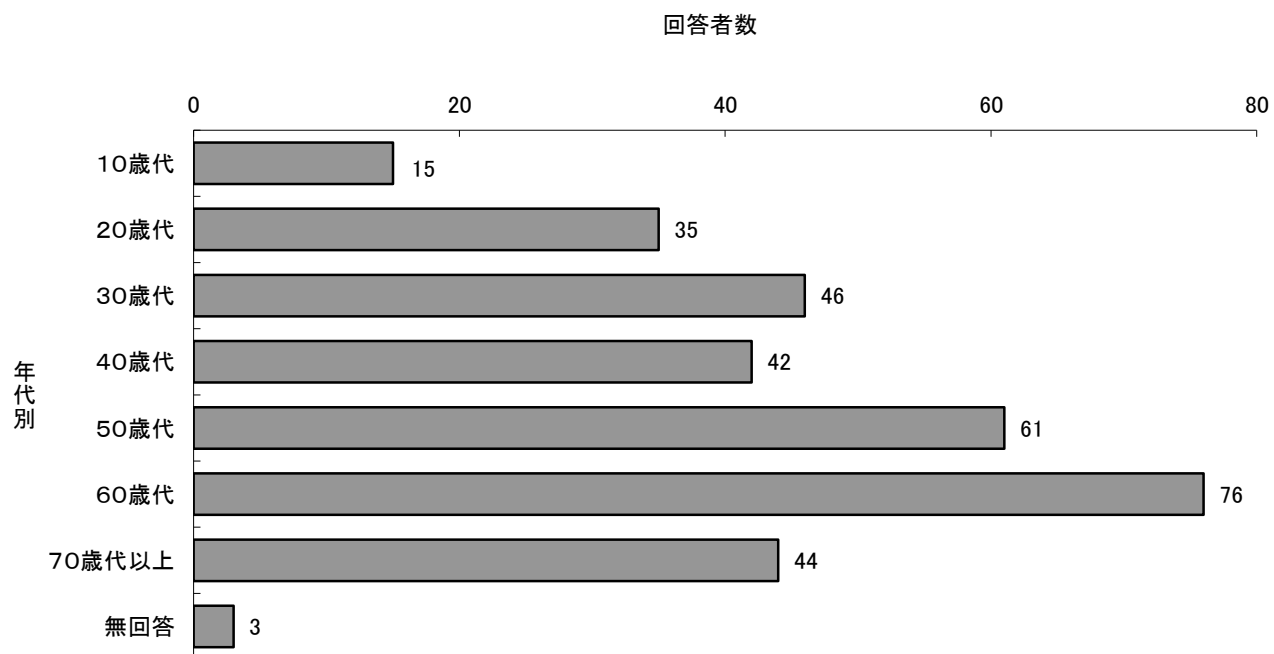


図 3 年代別回答者数

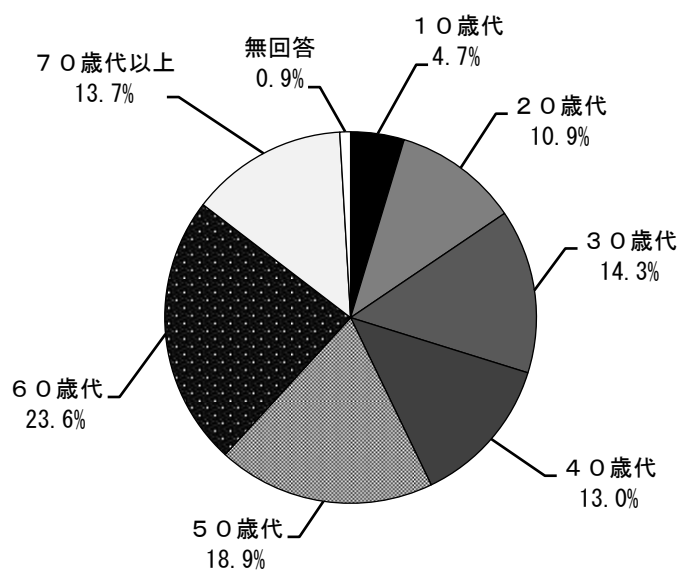


図 4 年代割合

③ 居住地区（18 地区）

居住地区は、西部地区が 15.5%と最も多くを占めていた。

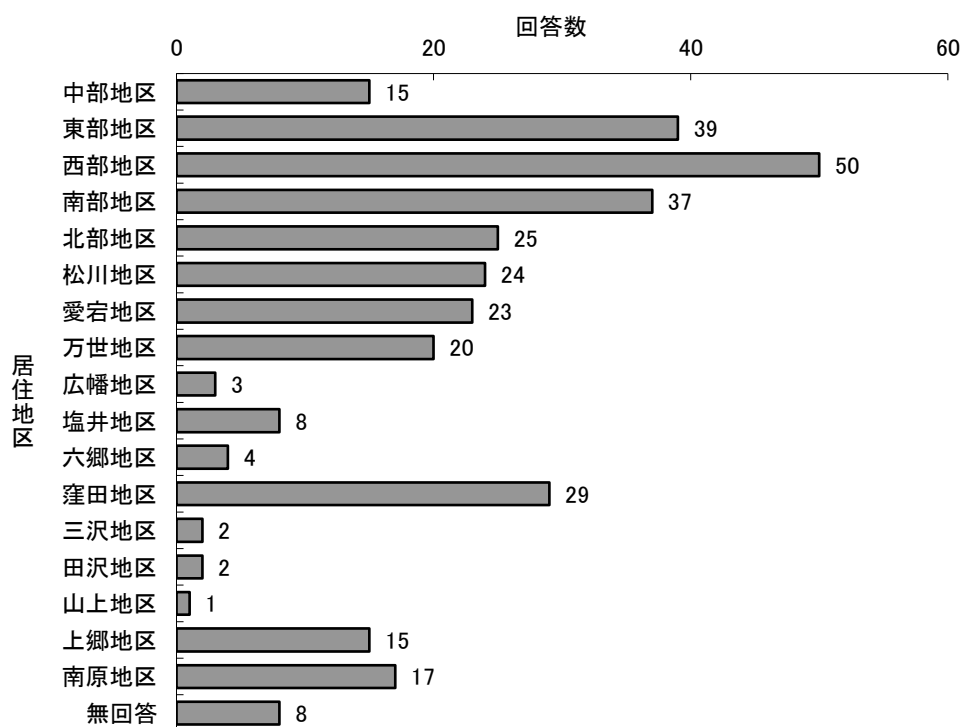


図 5 居住地区別回答者

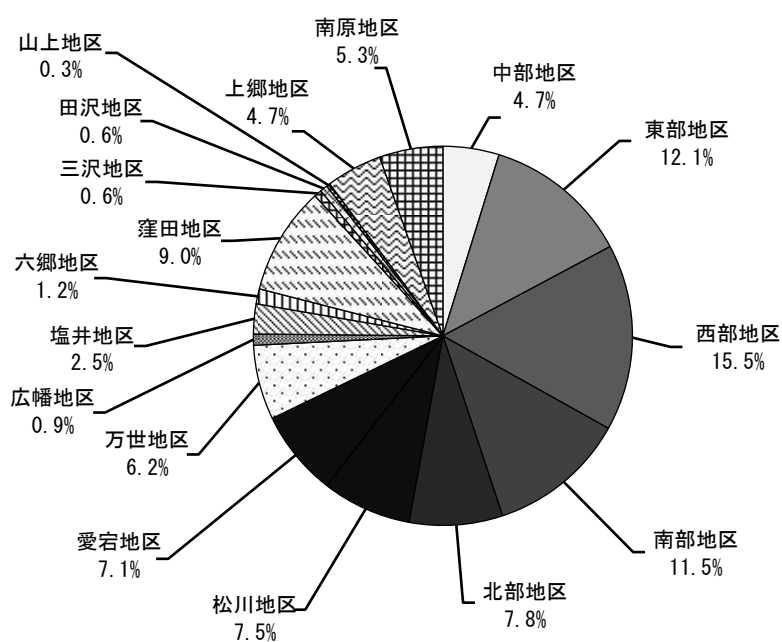


図 6 回答者居住地区割合

④ 住宅

住宅は「一戸建て(持ち家)」が82.6%と最も多く、次いで「マンション・アパート(賃貸)」が13.0%、「一戸建て(賃貸)」が3.4%であった。

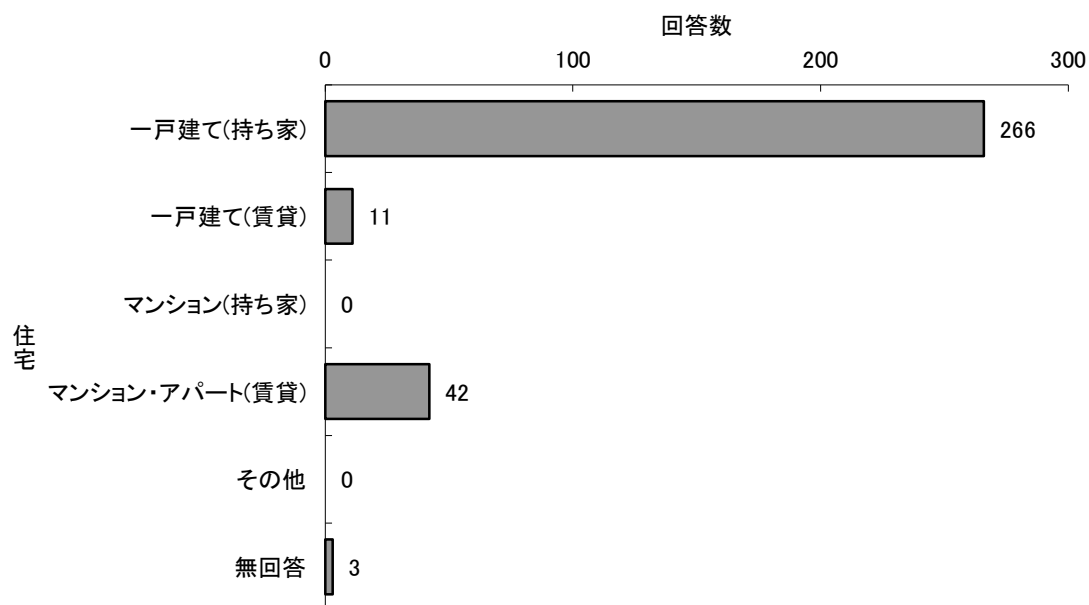


図 7 住宅別回答者数

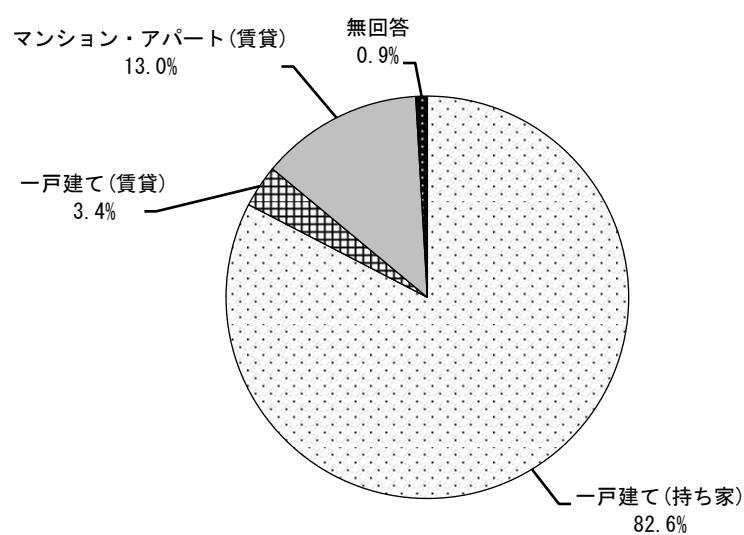


図 8 住宅割合

⑤ 同居人数

同居人数は「2人」が28.0%と最も多く、次いで「3人」が24.2%、「4人」が20.2%であった。

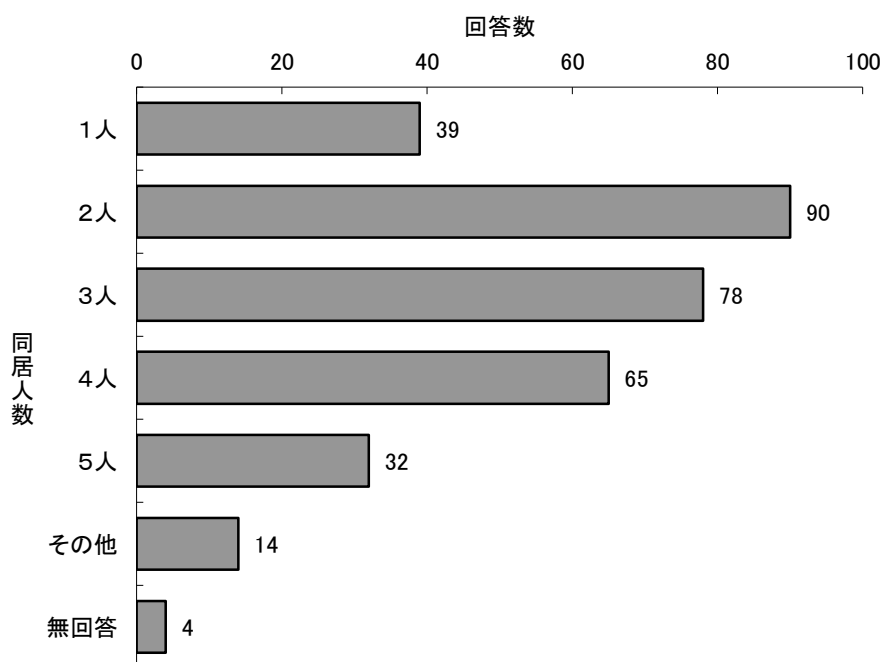


図 9 同居人数別回答者数

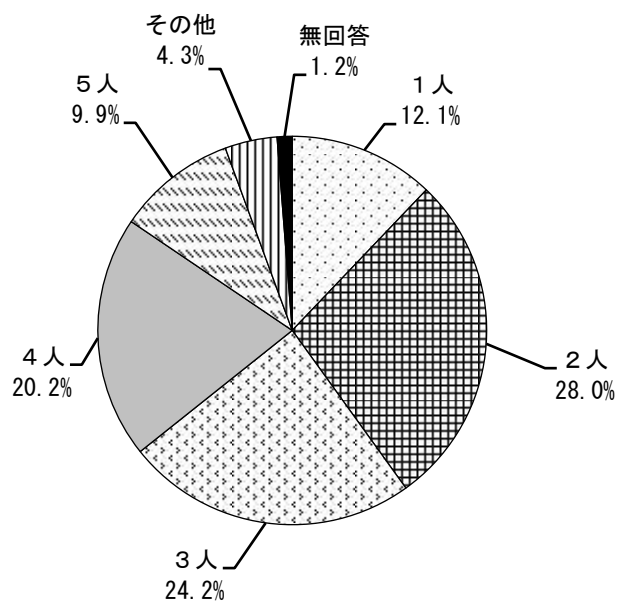


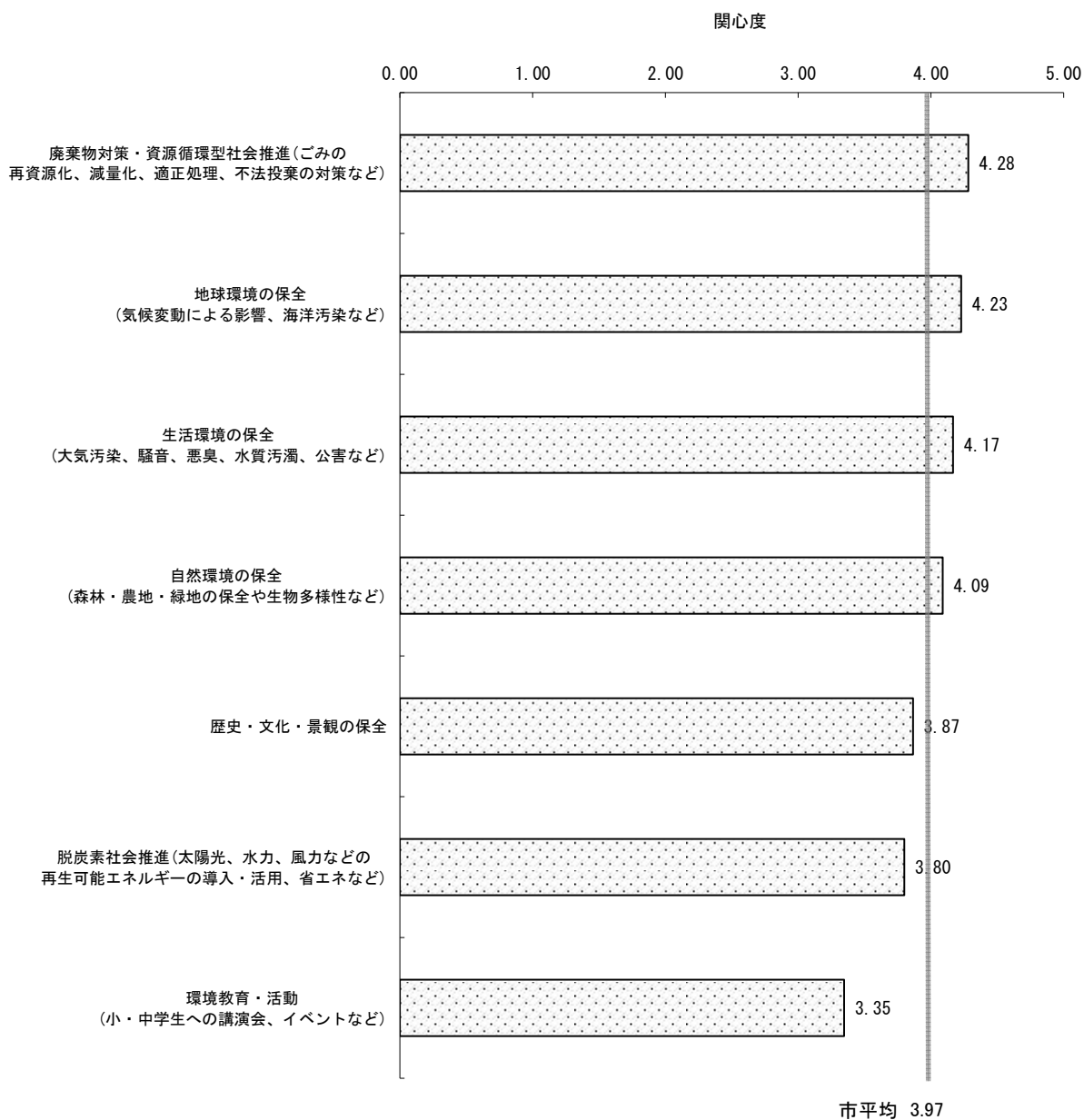
図 10 同居人数別割合

Ⅲ. 環境に対する関心について

1. 環境問題に対する関心（現状評価・関心度）

環境問題に対する関心度は、平均で 3.97 であった。このうち、「廃棄物対策・資源循環型社会推進(ごみの再資源化、減量化、適正処理、不法投棄の対策など)」が最も高く 4.28、次いで「地球環境の保全(気候変動による影響、海洋汚染など)」が 4.23、「生活環境の保全(大気汚染、騒音、悪臭、水質汚濁、公害など)」が 4.17 であった。

「歴史・文化・景観の保全」、「脱炭素社会推進(太陽光、水力、風力などの再生可能エネルギーの導入・活用、省エネなど)」、「環境教育・活動(小・中学生への講演会、イベントなど)」は平均を下回っていた。



※関心度は「関心ある」を5、「少しある」を4、「あまりない」を2、「ない」を1とし合計を回答者数で除し平均を求めたもの

図 11 現状評価

2. 環境に関する情報の取得

環境に関する情報の取得方法は「テレビ・ラジオ・新聞」の回答が最も多く 74.5%、「広報よねざわ」が 44.7%、「SNS」が 33.2%と続いていた。一方、「環境関連イベント・講演会等」が 4.7%と最も低く環境に関する情報の取得方法として活用されていない状況がうかがえた。

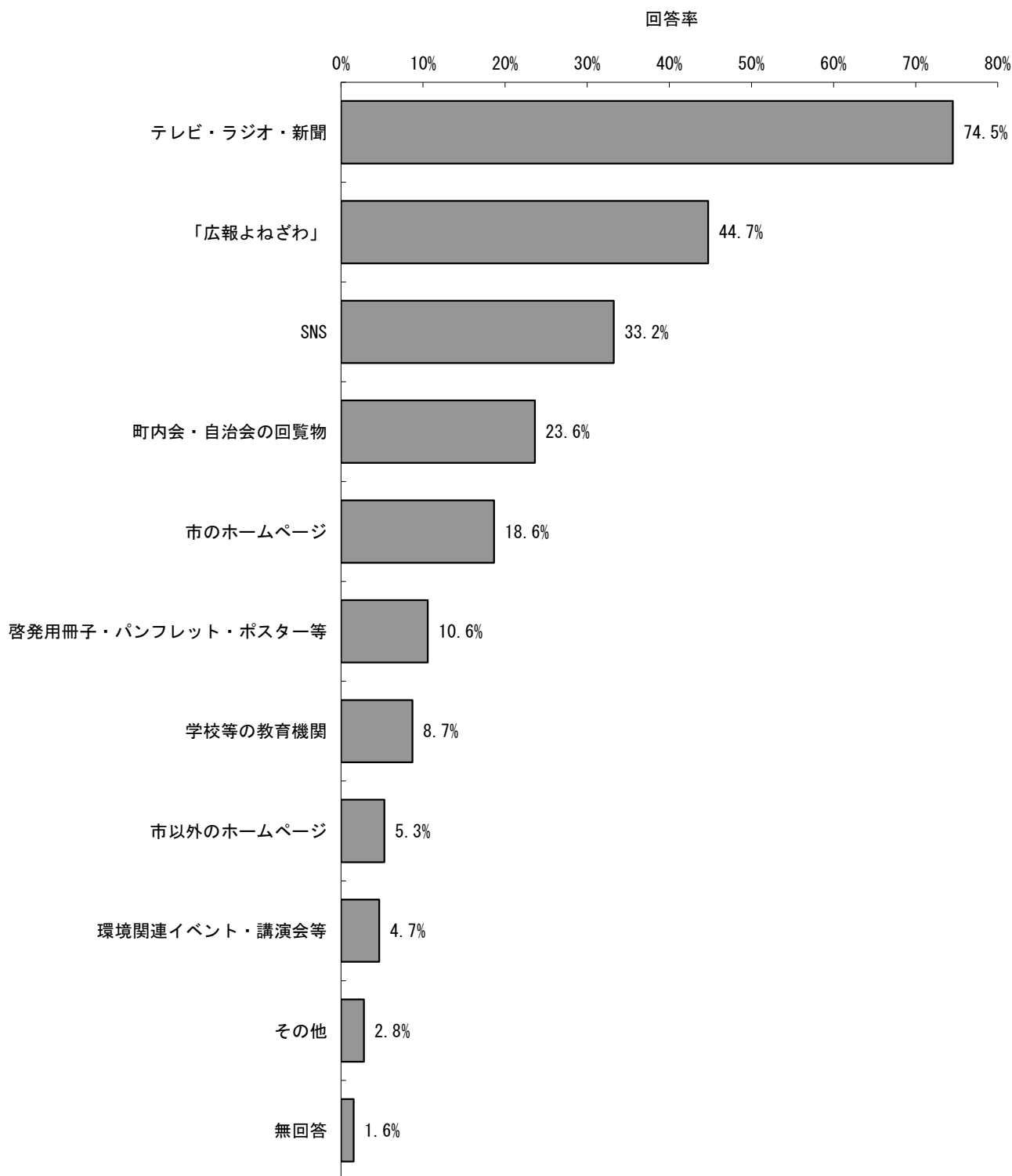
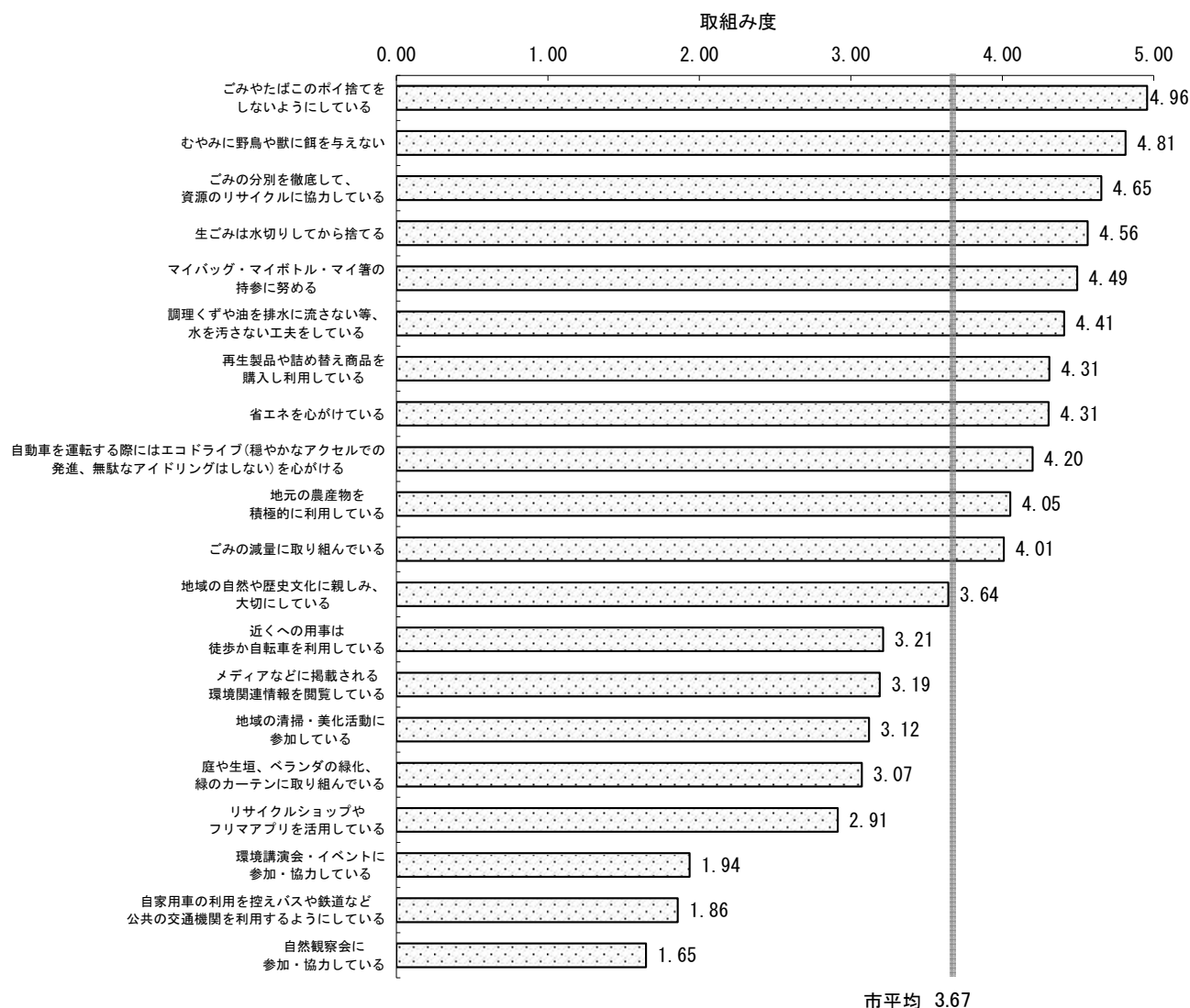


図 12 「環境に関する情報」内訳

IV. あなたの環境行動について

1. 環境に配慮した取組みの実施状況

日常行っている環境に配慮した取組みの状況は、取組み度の平均が 3.67 であり比較的取組みが実施されている状況がうかがえた。このうち「ごみやたばこのポイ捨てをしないようにしている」が最も高く 4.96、次いで「むやみに野鳥や獣に餌を与えない」が 4.81、「ごみの分別を徹底して、資源のリサイクルに協力している」が 4.65 と続いており、心がけにより実践できる取組みについては多くの市民に取り組みされている状況がうかがえた。一方、「環境講演会・イベントに参加・協力している」が 1.94、「自家用車の利用を控えバスや鉄道など公共の交通機関を利用するようにしている」が 1.86、「自然観察会に参加・協力している」が 1.65 であった。これらの取組みについては、関心の低さのほか、「自家用車の利用を控えバスや鉄道など公共の交通機関を利用するようにしている」は利用の機会が少ない、整備が不十分、「環境講演会・イベントに参加・協力している」や「自然観察会に参加・協力している」については、参加の機会が少ないといった状況も取り組まれない要因となっている可能性がある。



※取組み度は「いつも実施している」を5、「時々実施している」を4、「実施していない、今後は実施したい」を2、「実施していない、今後も難しい」を1とし合計を回答者数で除し平均を求めたもの

図 13 「環境に配慮した取組み」現状評価

2. 機器類等の導入状況・予定

① 導入状況

家庭における機器類等の導入状況についてみると、「LED 照明」が最も多く導入されており 69.6%、次いで「省エネ型のエアコン」が 55.3%、「住宅の断熱化（二重サッシ、遮蔽フィルムなど）」が 48.1%、「省エネ型の冷蔵庫」が 45.3%と、比較的成本がかからない家電や住宅の断熱改修は多く導入されている状況がうかがえた。一方、コストがかかる設備導入に関しては導入が進んでいない傾向があり、特に「地中熱ヒートポンプ」の回答は 0.3%と最も低くなっていた。

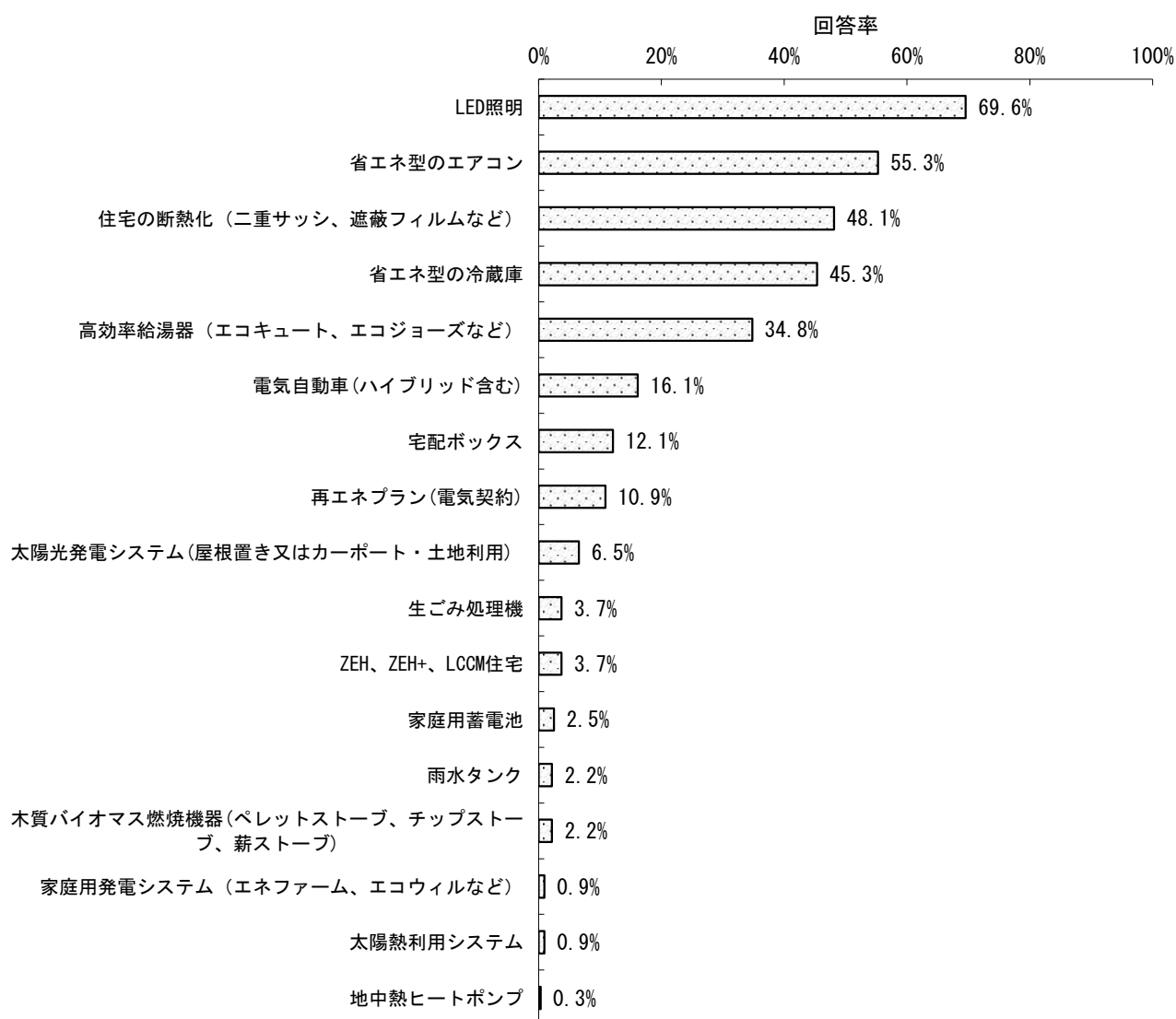


図 14 機器類等の導入割合

① 導入予定

機器類の導入予定についてみると、「導入する予定がある」、「助成があれば導入したい」の合計の割合が最も多かったのは「宅配ボックス」であり、「省エネ型の冷蔵庫」、「LED 照明」が続いていた。一方、「今後も導入しない」の回答が多かったのは、「木質バイオマス燃焼機器(ペレットストーブ、チップストーブ、薪ストーブ)」であり、「雨水タンク」、「太陽光発電システム（屋根置き又はカーポート・土地利用）」と続いていた。導入状況と同様、コストがかかる設備は導入が検討されない状況がうかがえた。

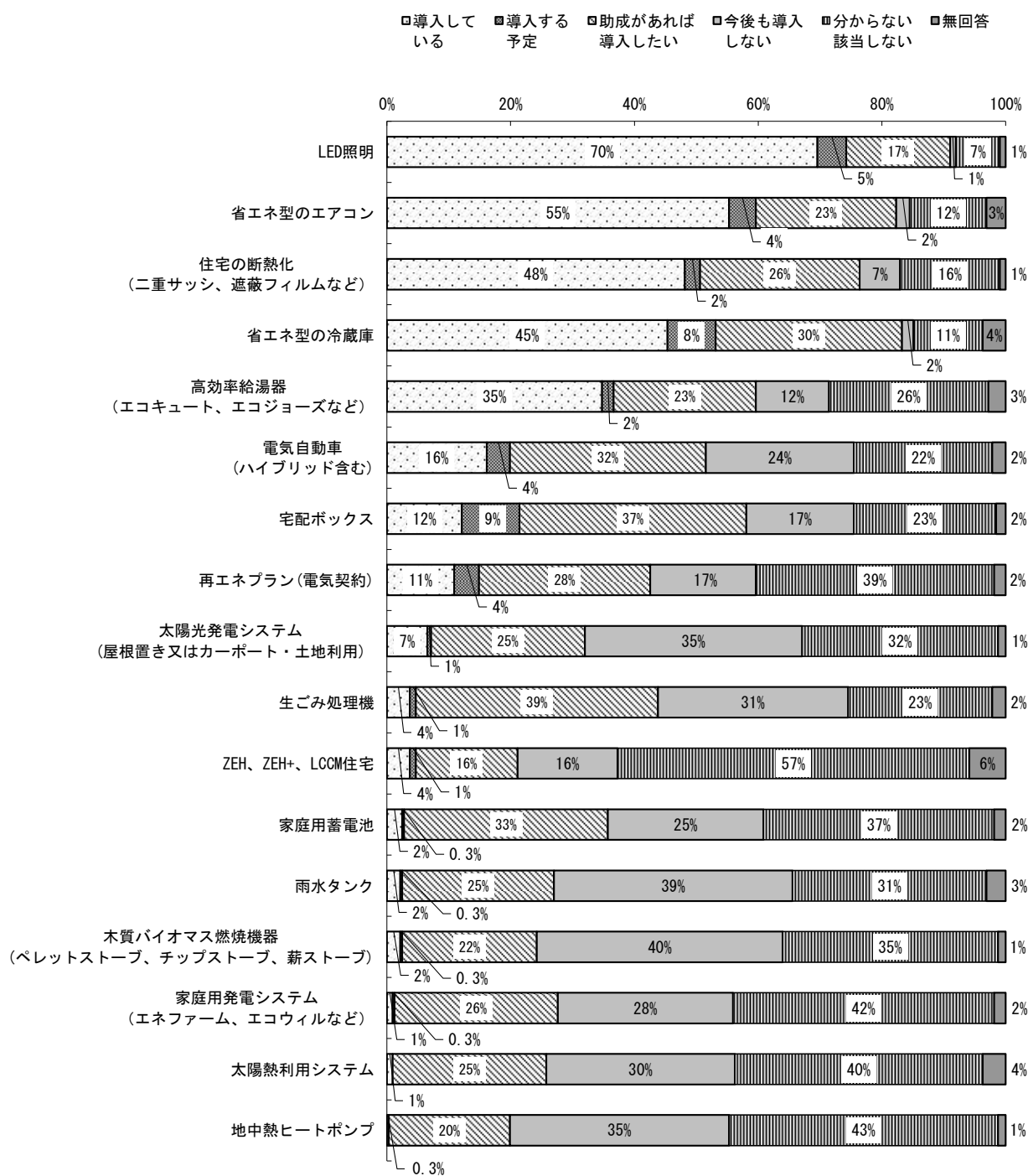
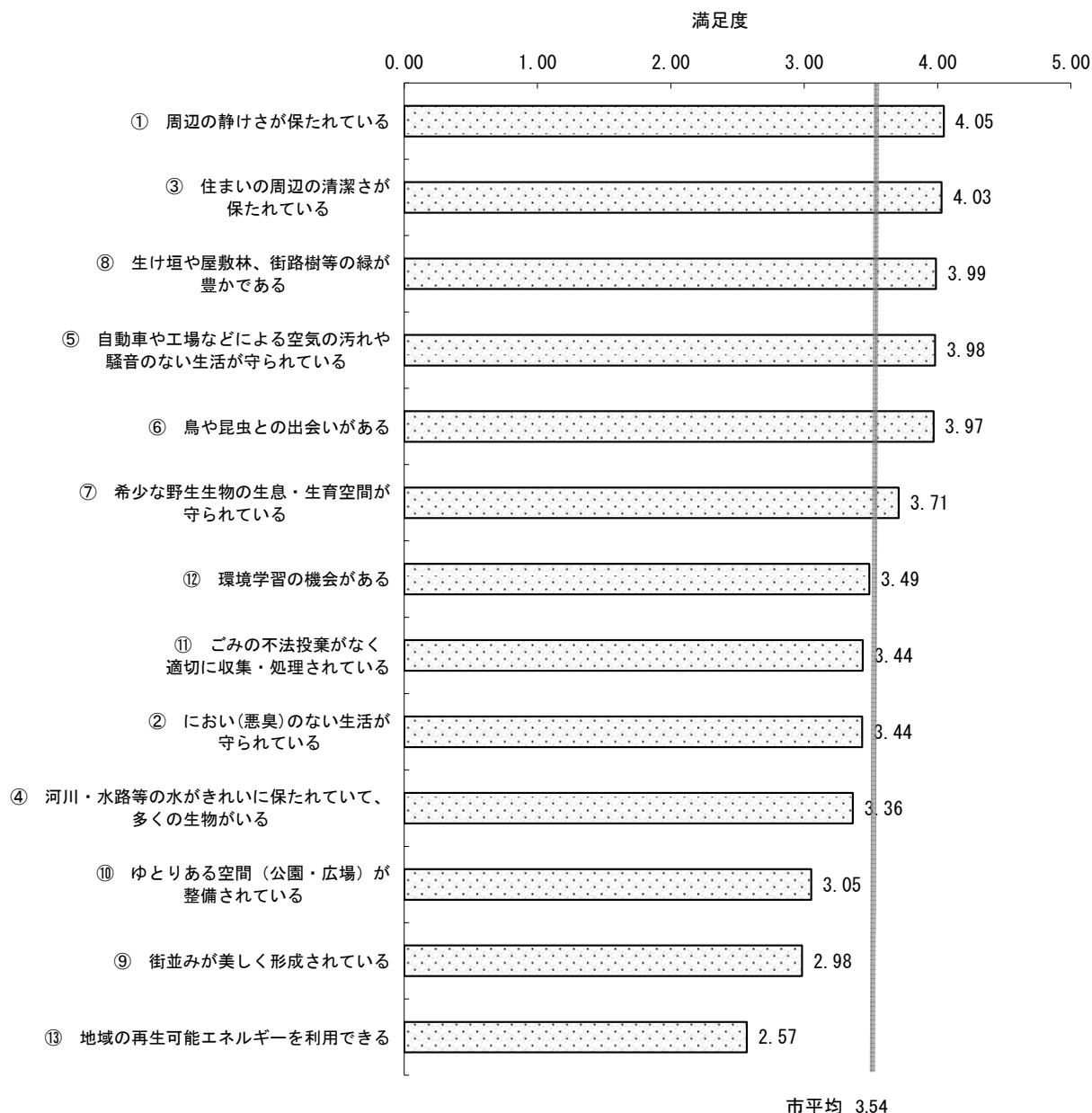


図 15 「機器類等の導入」内訳

V. 地域環境の満足度・重要度について

1. 現状の満足度

地域環境の満足度については、平均が 3.54 であった。このうち、最も満足度が高かったのが「①周辺の静けさが保たれている」で 4.05、次いで「③住まいの周辺の清潔さが保たれている」が 4.03、「⑧生け垣や屋敷林、街路樹等の緑が豊かである」が 3.99、「⑤自動車や工場などによる空気の汚れや騒音のない生活が守られている」が 3.98、「⑥鳥や昆虫との出会いがある」が 3.97 と続いていた。一方、「⑬地域の再生可能エネルギーを利用できる」の満足度が最も低く 2.57 であり、脱炭素社会の実現に向けたエネルギーの地産地消に課題があることがうかがえた。

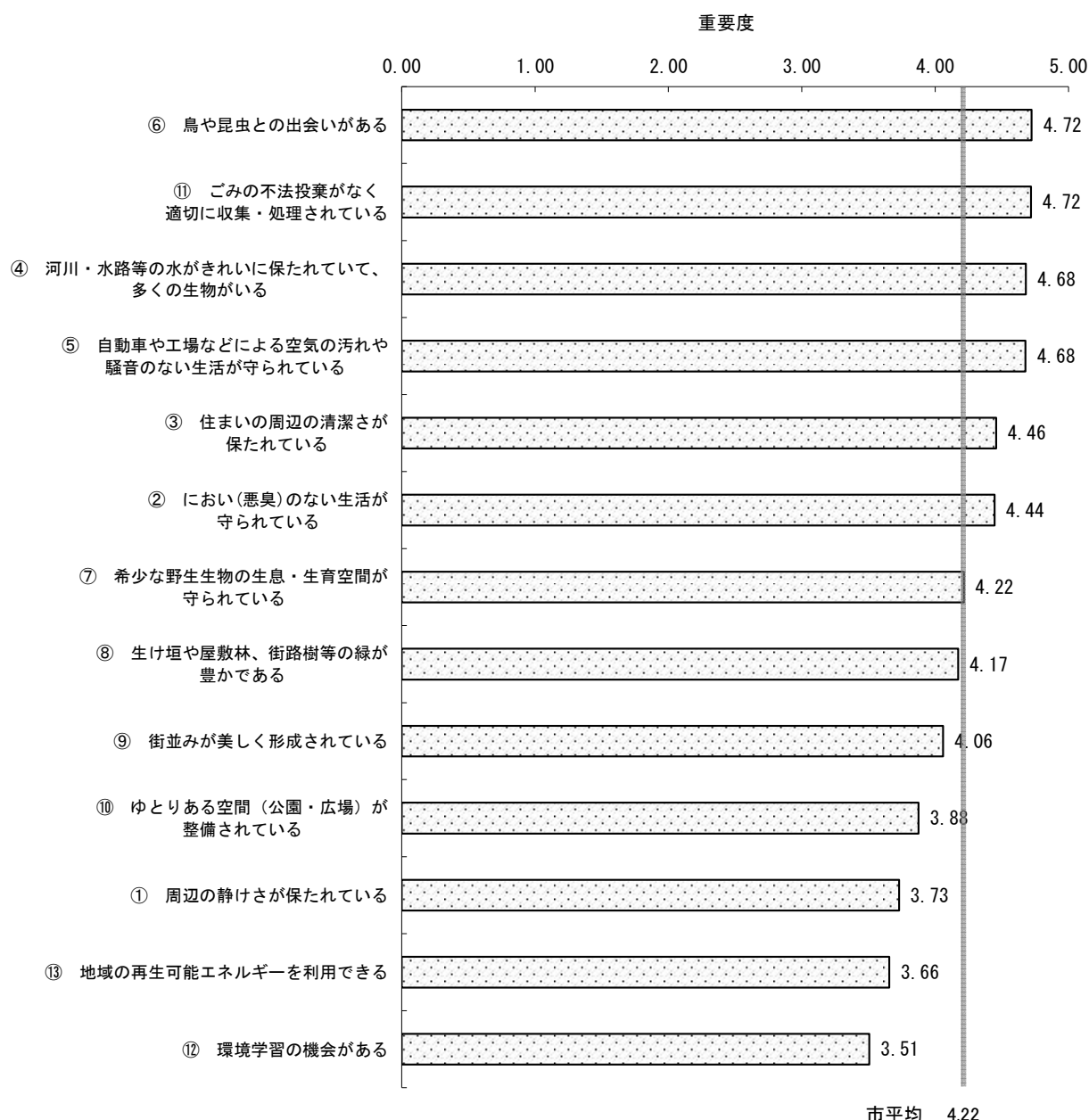


※満足度は「満足」を5、「どちらでもない」を3、「不満」を1とし合計を回答者数で除し平均を求めたもの

図 16 現状の満足度

2. 今後の取組みの重要度

今後の取組みの重要度については、平均が 4.22 といずれの取組みも重要と考えられていることがうかがえた。このうち、重要度が最も高かったのは「⑥鳥や昆虫との出会いがある」で 4.72、次いで「⑪ごみの不法投棄がなく適切に収集・処理されている」が 4.72、「④河川・水路等の水がきれいに保たれていて、多くの生物がいる」、「⑤自動車や工場などによる空気の汚れや騒音のない生活が守られている」が 4.68 と続いていた。一方、最も重要度が低かったのは「⑫環境学習の機会がある」で 3.51 であった。



※重要度は「とても重要」を5、「どちらかというと重要」を4、「どちらかというと重要でない」を2、「重要でない」を1とし合計を回答者数で除し平均を求めたもの

図 17 今後の取組みの重要度

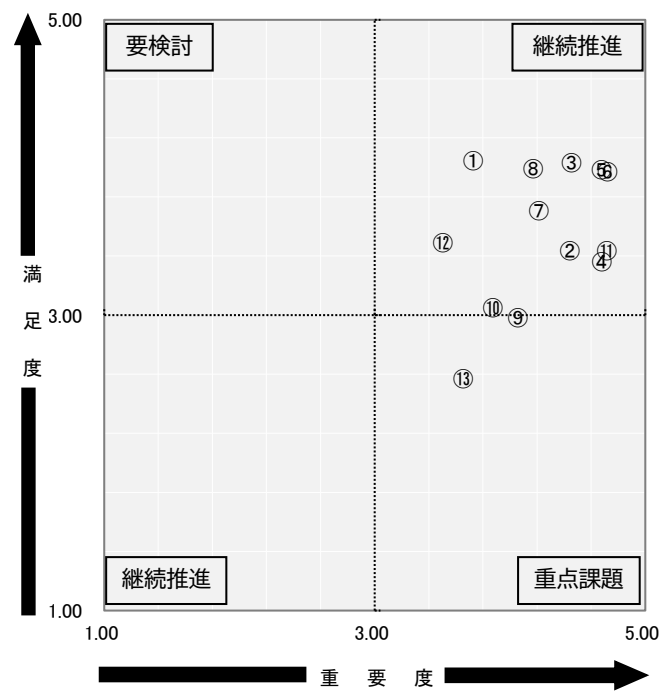


図 18 「地域の環境」 散布図

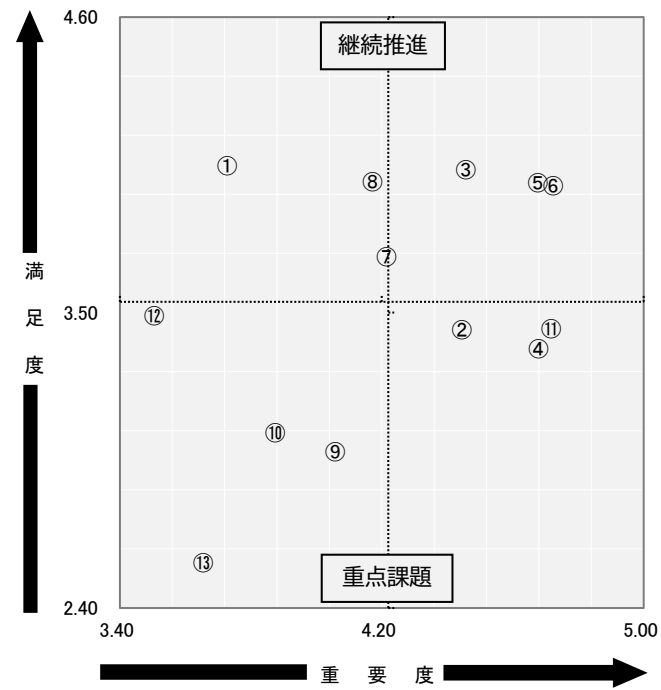


図 19 「地域の環境」 散布図拡大部分

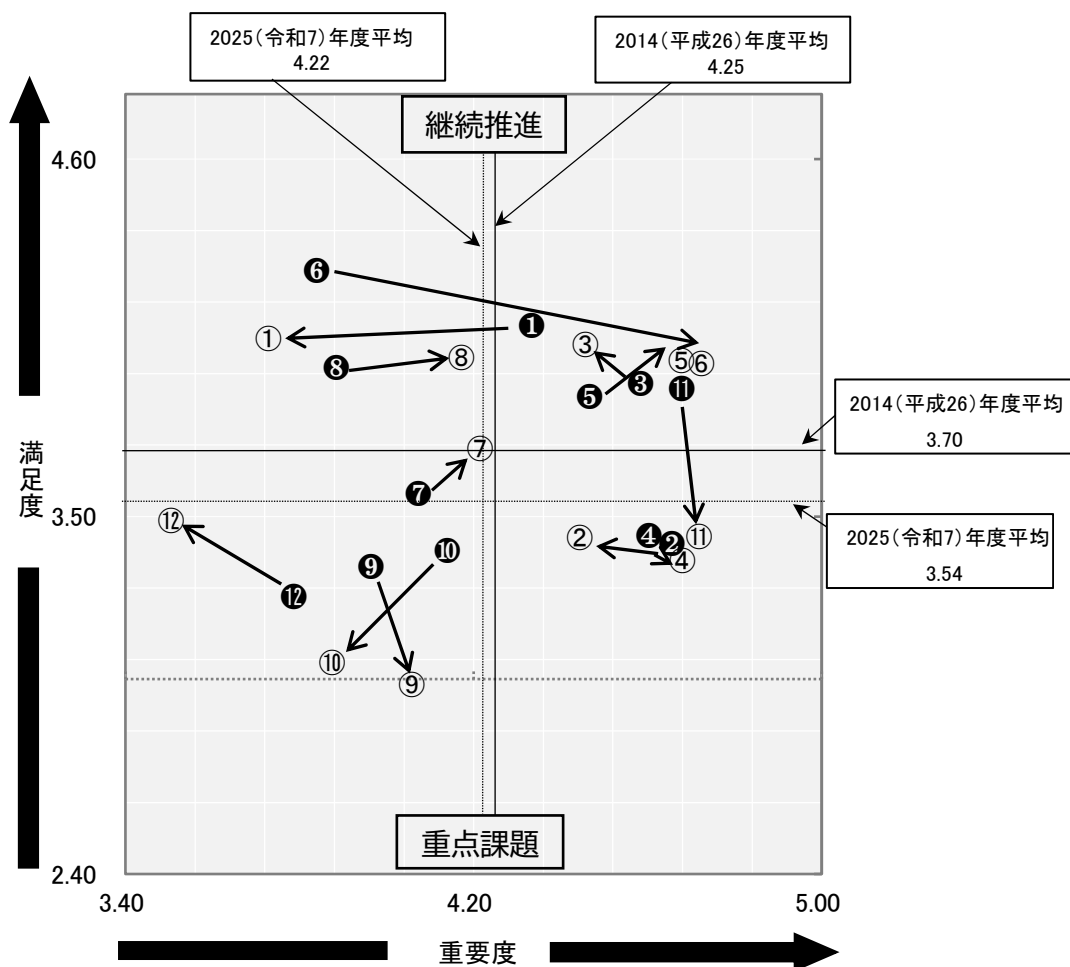
3. 過年度との比較

過年度である 2014（平成 26）年度と今共通する 12 の内容を比較したところ、今年度、満足度、重要度ともに高くなった内容は「⑤自動車や工場などによる空気の汚れや騒音のない生活が守られている」、「⑦希少な野生生物の生息・生育空間が守られている」であり、より継続推進が求められていることがうかがえた。「⑨街並みが美しく形成されている」、「⑪ごみの不法投棄がなく適切に収集・処理されている」の満足度は低下しており、これらも継続推進が必要とかがえた。

「⑥鳥や昆虫との出会いがある」については満足度が低くなっている一方で、重要度は高くなっており、重点課題と考えられる。

なお、「①周辺の静けさが保たれている」、「②におい(悪臭)のない生活が守られている」、「③住まいの周辺の清潔さが保たれている」、「⑩ゆとりある空間（公園・広場）が整備されている」、「⑫環境学習の機会がある」については重要度が低くなっており、優先度は低くなったと考えられる。

なお、満足度、重要度それぞれの平均度合いは、過年度と今年度ともにほぼ同じだった。



※1 ①～⑫ 2014（平成 26）年度調査、①～⑫ 2025（令和 7）年度調査

※2 「⑬ 地域の再生可能エネルギーを利用できる」は、2014（平成 26）年度調査時にはないため除外している。

図 20 「地域の環境」過年度との比較分散図

VI. 今後の市の取組みについて

市が重点的に取り組むべき施策・対策については、「ポイ捨て・不法投棄対策（パトロールの推進、普及啓発など）」の回答が最も多く 71.7%、次いで「農地の保全・活用（農業の担い手・人材育成への支援、耕作放棄地解消のための補助など）」が 63.7%、「ごみの減量・再利用・再資源化・適正処理の推進」が 62.7%と続いていた。一方、「環境教育・環境学習の推進（イベント、講演会、講座の開催など）」は最も回答率が低く 29.8%であり、必要性が伝わっていない可能性がうかがえた。

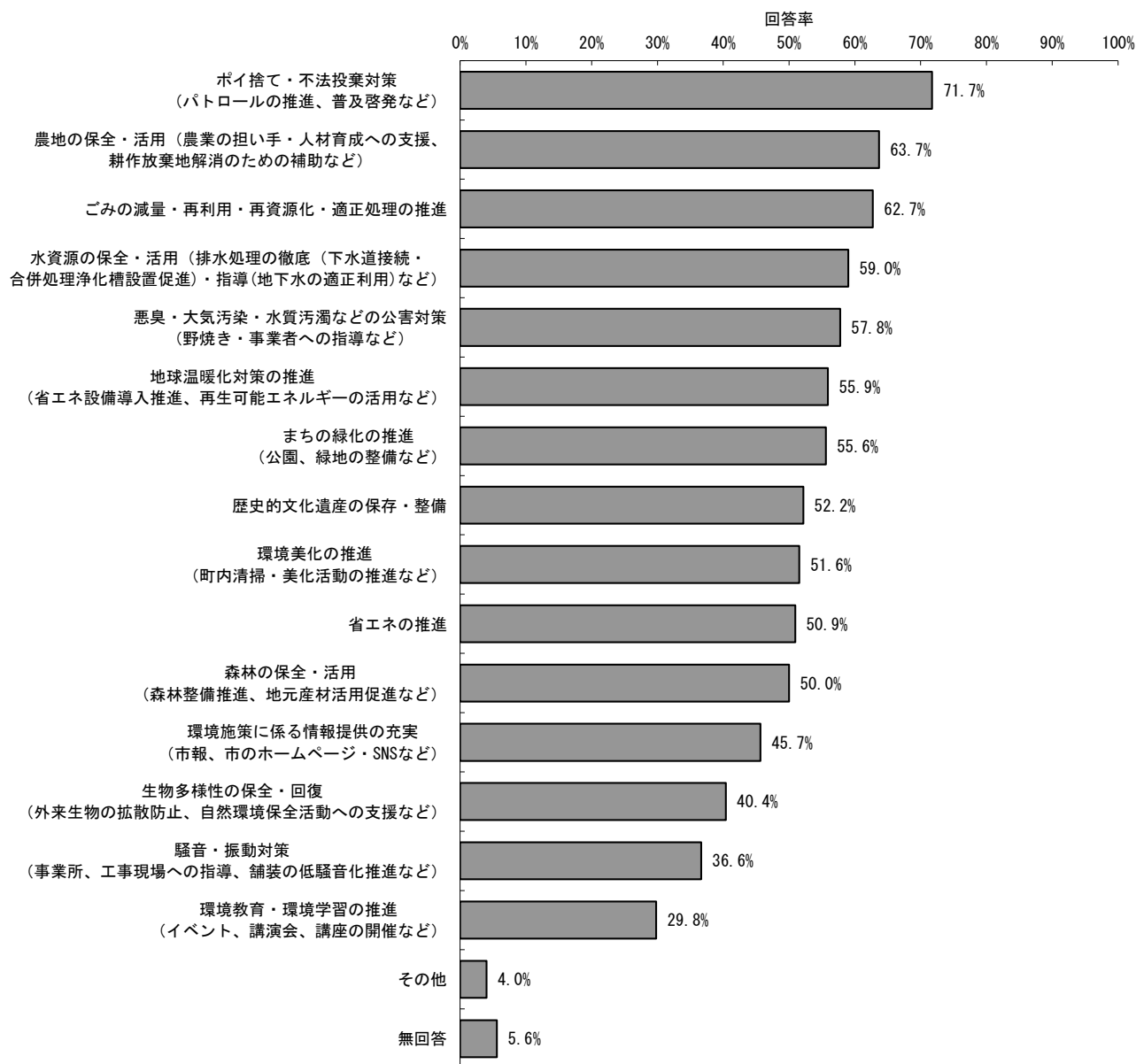


図 21 「取り組むべき対策」回答数と内訳

VII. 生物多様性について

1. 生物多様性

生物多様性という言葉については、「知っている」、「聞いたことはあるが、内容までは知らない」を合わせて68.9%と、約7割が耳にしたことがある状況であったが、内容まで「知っている」割合は21.1%と低くなっていた。

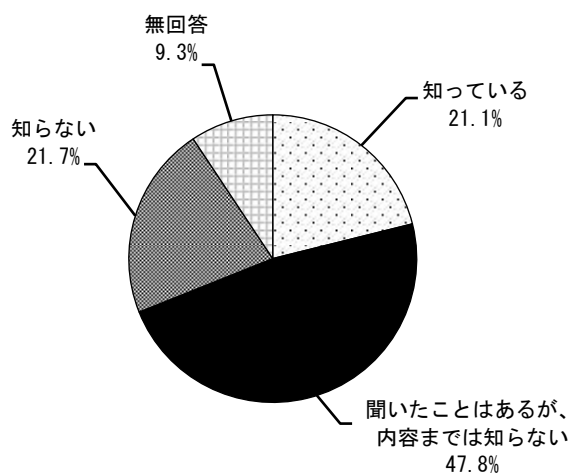


図 22 「生物多様性」の認知度

2. 特定外来生物

特定外来生物のうち、「アライグマ」の認知度が最も高く、「知っている」という回答が9割以上であった。次いで「ヒアリ」が8割程度、「ミシシippアカミミガメ」が5割程度と続いていた。

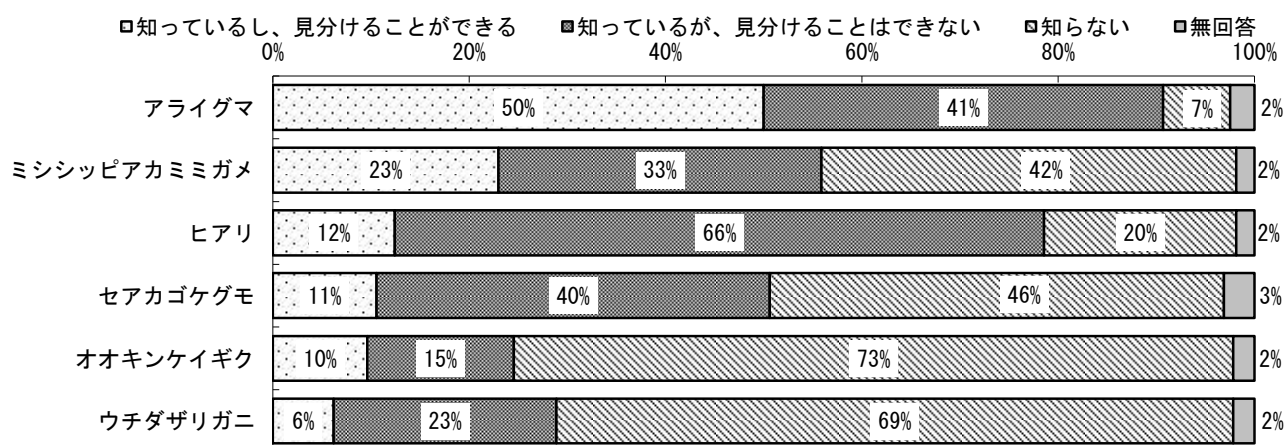


図 23 特定外来生物の認知度

3. 今後の取組み

今後検討すべき生物多様性に関する施策については、「外来生物対策」の回答が最も多く 57.5%、次いで「希少野生生物の生息・生育環境の保全」が 46.6%、「ペットの適正飼育の啓発」が 45.3%と続いていた。一方、「自然観察会などのイベントの開催」は 13.7%と最も少なくなっていた。生物多様性に関する施策については、自然観察会などのイベント開催よりも、具体的な取組みの推進が求められていることがうかがえた。

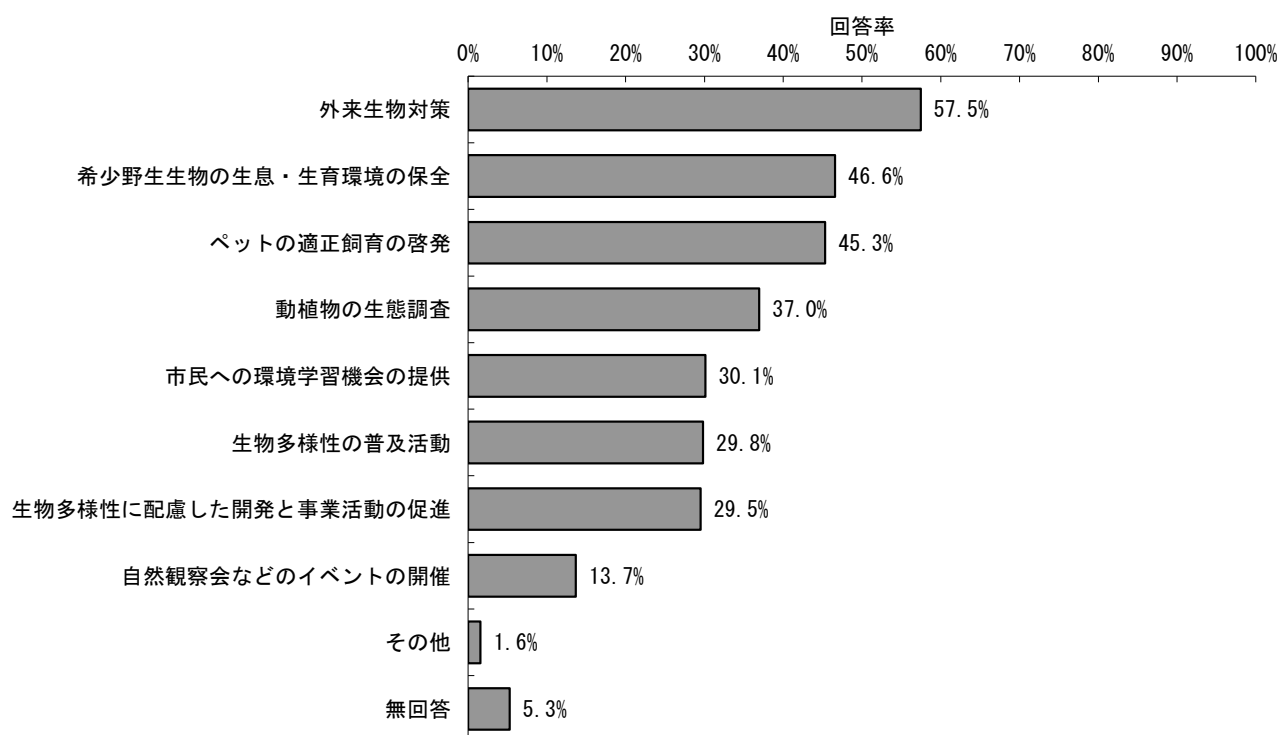


図 24 今後検討すべき生物多様性に関する施策

Ⅷ. 再生可能エネルギーについて

再生エネルギー導入についてどう思うかについては、「地球温暖化防止に繋がる」が最も多く 63.7%、次いで「光熱費を削減できる」が 54.7%、「天候や季節といった環境的要因に左右される」が 51.2%と続いていた。「地域資源を有効活用できる」、「エネルギー代金の流出を減らせる」、「地域経済活性化できる」の回答が少なく、これら再生可能エネルギーの長所に関する情報発信の強化が重要とうかがえた。

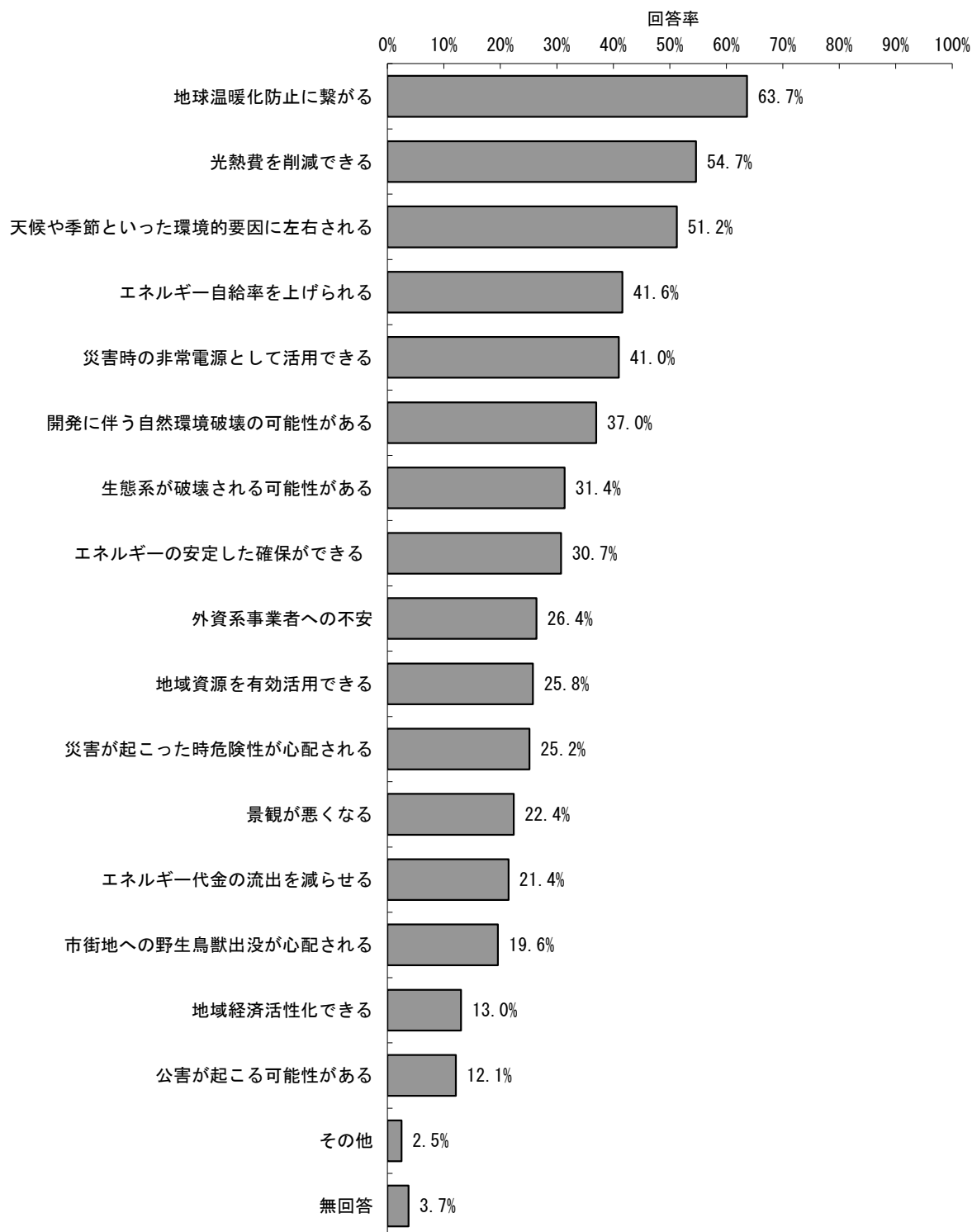


図 25 再生エネルギー導入についてどう思うか

IX. 用語の認知度について

1. 米沢市ゼロカーボンシティ宣言

「米沢市ゼロカーボンシティ宣言」について、「知っている」、「聞いたことはあるが、内容までは知らない」の回答率が 51.8%と、約 5 割が耳にしたことがある状況であった。一方、内容まで「知っている」は 12.4%であり、内容の周知に課題がうかがえた。

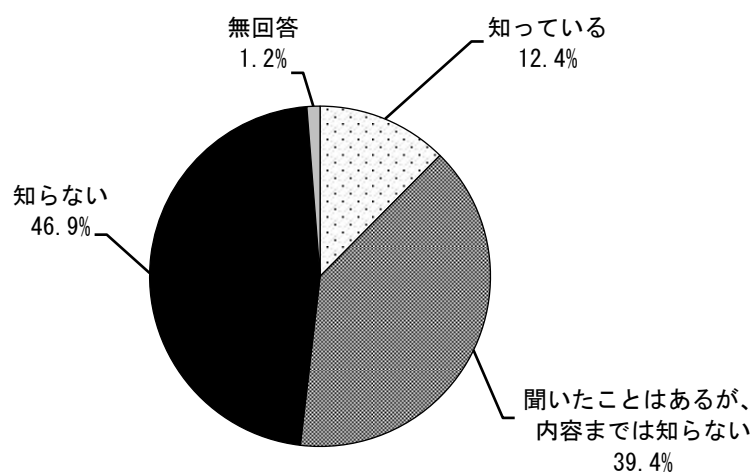


図 26 「米沢市ゼロカーボンシティ宣言」認知度

2. 米沢市プラスチックごみゼロ宣言

「米沢市プラスチックごみゼロ宣言」について、「知っている」、「聞いたことはあるが、内容までは知らない」の回答率が 55.2%と約 5 割が耳にしたことがある状況であった。一方、「知っている」の回答率は 18.9%であり、内容の周知に課題がうかがえた。

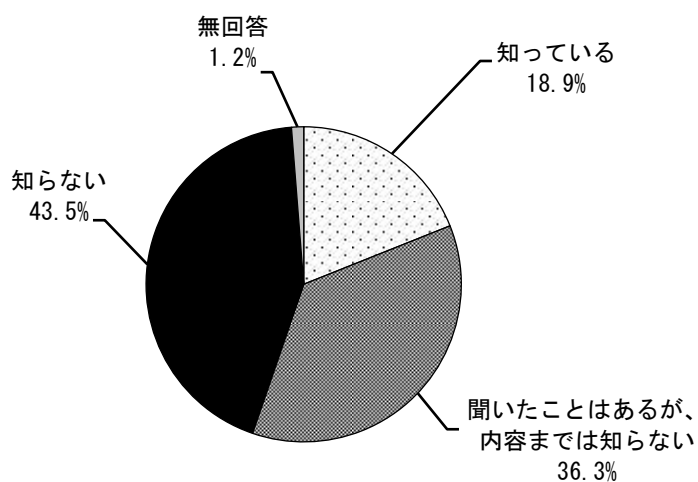


図 27 「米沢市プラスチックごみゼロ宣言」認知度

3. デコ活

「デコ活」については、「知らない」の回答率が79.8%と認知度が低い状況であった。

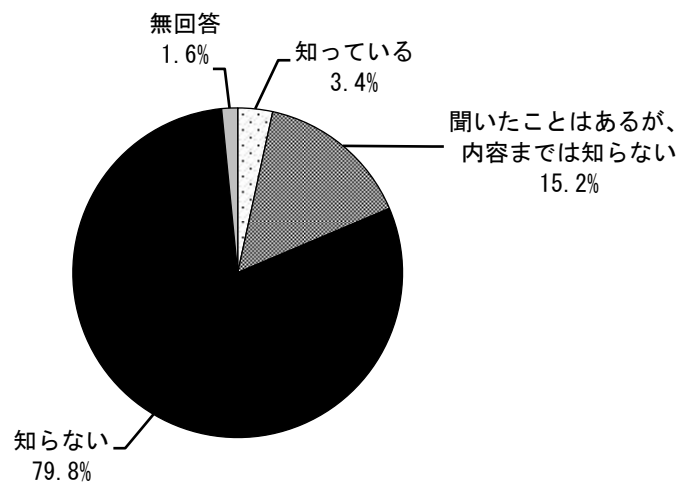


図 28 「デコ活」認知度

X. ご意見・ご要望など（内容の類似する意見は一部省略）

- 人工芝の河川への流出がプラスチック汚染の1つでは？
- 緑が多く空気がきれいで、サギやカモなど田んぼで見られます。冬の白鳥も毎年飛来しています。この環境を維持できるよう、身近にできることをしていきたいです。近い所は自転車を利用しています。子供がいますが自然豊かで安心して遊ばせられる環境がとても良いです。電気代は高いのでなんとか下げられるようにしていただきたいです。
- 風力発電をぜひ米沢にも作ってほしい。米沢だけ（9:11の時）停電しなかったのはにいがたから電気をもたらったとの事。これから何があるかわからないので少しでも発電できたらいい。
- 難しい事は分かりませんが、最近では安定して地下水を汲み上げるのに100m程掘らなければならなくなつたと聞きます。米沢は雪国です。消雪、融雪にも、地下水は重要な物だと思います。施設であれ、道路であれ、家庭であれ、皆が地下水を豊かに使用するにはどうしたらよいのか、どうするべきか、何が出来るのか。とても関心があります。何かを良くするよりも、何かが悪くならない様にする為の政策を、ぜひよろしくお願いします。
- 環境保全、ゴミ再利用等への補助金が他とくらべて圧倒的に少ないと思います。ぜひ検討をお願いします。
- 風力発電や太陽光発電などやめてもらいたい。これぞかんきょう破壊のもとです。キャノングローバル研究所における10年後の再生可能エネルギーの効果を調べて見た所日本から世界へのCO₂削減効果はわずか0.0006%しか無いのに米沢市で行なう必要性があるのか？ メンテナンス費用はいくらかかるのか？
- 昨年から家の畑に猿が来るようになり、農作物が荒らされています。周辺に空き家が増え、樹木が手入れされることなく伸び放題であることが、猿の隠れる場所を増やしている一因だと思います。又、この庭木や雑木林が整備されていない為に雪害で空き家の損壊や、電線がきれることにつながっています。景観が悪くなればその周りの土地の価値が下がり、ますます人が住みにくくなっていきます。「豊かな自然」と「放置された環境」は違います。手つかずになっている樹木をきちんと管理し、有効に活かせる取組をお願いします。安全でおだやかな市民生活を取り戻したいと思います。
- 雪の投雪川が多くあれば助かりますが
- 全国的に問題化されている空家対策について、重要に感じております。市内を車で見て廻っても、どこにでもある状況がますます加速すると思われます。
- 最近はかなり少なくなったが、夜東風による悪臭に気配りをしてほしい。夏は大変です。
- プラスチックゴミは可燃ゴミといっしょにしていきたいと思います。結局プラスチックのリサイクルは不可能のままであるため、ほぼすべてのプラスチックゴミが燃やされているのが現状です。無意味な分別でお金と手間を浪費せず、まとめて可燃ゴミとして収集した方がいいと考えます。
- 最上川の源流に住む者として水を汚さないようにするという意識を持って、ごみを流さないだけでなく環境に優しい生分解性の高い洗剤を使っている。汚れた食器はスクレイパーで拭き取ってから洗い排水をなるべく汚さないようにしている。
- ・消雪の為の地下水利用を極力押えていただきたい。（特に民間施設）
・又、過度な除雪も控えていただきたい（市、県、国）
- 市の中心部に若い人達（子ども）があつまるようにしてほしい。
- 米沢牛の牛ふんを使ったバイオ発電の取組みはとても良いアイデアだと思います。これからもより発展

させてほしいです。

- 街路樹について 管理されていな所が多い。住民から反対されての事と思うが伐採されていたり根元には草がボーボー伸び放題。特にサッカー場付近の道路。県内外から人々が集まる所なのに残念です。毎年ケーブデンキからプランタンの道路は特にひどい。木を植えたなら葉が落ちるのはあたり前の事。落葉は誰が片付けるのですか？ また、冬期間は凍結しスリップ事故につながります。市でしっかり管理できない（予算不足等）なら植えないで欲しい。
- 米沢市の水道管の劣化状況を知りたい。今後の計画的な取り組みを明確にしていきたいと思っています。よろしくお願いします。
- ・さる、くまの対策をしてほしい
・防雪林にせっかく植えたさくらと紅葉の手入れをしっかりと綺麗に保ってほしい。
・緑豊かでゆっくりさんぽが出来るきれいな公園や道を使ってほしい。
- 人間、動物、植物が集まれるいこいの場をもっと増やしてほしい（生態系が学べるような所）
- がんばってくださいネ 応援しています。
- 税金を安くしてほしい！
- ○様々な年代の人が安心して生活しやすい米沢である為に、特に冬期間の環境に力を注いでほしい。
○若い方も幼い方もリラックスできる娯楽施設の種類の考え実活用できるようにしてほしい。
○平和通りが活気のある場であってほしい。
- 不燃ごみの回収をもっとひんぱんにしてほしい。バッテリーや電子機器など不燃ごみでも捨てられないものが多すぎるので、回収する機会を増やしてほしい。
- 太陽光パネル、風力発電用の風車の許認可に対しては行政側の積極的な介入をしてもらい検討してもらいたい。市民レベルでの対応では設置行者に対応が出来ないのではないかな。
- ・昔とくらべて子どもの数が減ったからというのがありますが、公園で遊んでいる子が少なく子どもたちの遊べる学べる空間が増えると良いと思いました。
・夜に出かける人が少ないこともあると思いますが夜くらすぎると思います。
・道路の白線が見えにくく運転しにくいと感ずることがあります。
- 市環境課の環境や省エネ推進に対する熱意、姿勢があまり感じられない。環境基本計画についても、他課の施策、対策等を集約しているだけのように見える。市民や市議からの環境や省エネに関する質問に対しても、環境課単独では回答できないのではないのでしょうか。環境課の業務範囲であるにもかかわらず、他の課に頼って、あるいは他の課に任せて回答している状況ではないのでしょうか。それでは他の課はついてきませんよ。
- 無料で子供たちが遊べる大きな施設を増やしてほしい。葉きょくばかりではなくもっと違う店を取り入れてほしい。
- 地域によっては、買い物をするスーパーがなく大変な所もあり、特に年寄りが多く、車の運転が出来ない方の多い通町、東大通、関根、万世など目をむけてほしいです。 ※キムラさんがなくなってから買い物が大変という声を聞いてほしい。環境も大切ですがまず市民の生活環境も考えてほしいです。
- イヌワシ生息のために風力発電を断念したが、未来の子供達のためにも安定したエネルギーをもっと真剣に考えて欲しいです。
- 個人の所有の建物や土地だと、行政は何かできることはあるのか分かりませんが、空き家や庭の手入れな

どが行きとどかずにいる住宅に対しての手立てはどうかかなと思います。道路や隣の住宅まで荒れた、のびている木々や草花について環境や景観、安全面では良いものではないなと思っています。

- 河川敷内の植物等が繁茂しており、陸地化した所があり豪雨時（米沢市内地域では時間雨量何百ミリといった大災害を発生するような雨が降ったことがないが、多地域他県では現実降っている事実がある）における大災害が心配です。自然保護等の間合いもあろうかと思いますが、河川敷のブル清掃等により災害防止取組みをしてほしい。
- 滋賀県に出張した時、シカの食害で1つの山が丸ぼうずになり、そのために河川にドロが流入してアユが釣れなくなると聞きました。米沢では、熊、イノシシ、シカ、カラス等の被害が今後考えられると思うので、山野と市街の線引き対策や有害鳥獣駆除の対策を今からしっかりと対応してほしいです。
- 住民税を下げろ！ 高すぎる
- 再生可能エネルギーなど言葉は知っていても、だれかが目標を決めてだれかがその目標に向けて取り組むものだと思っていました。自分も微力ながら、考えてゆかなければならないと思います。風力発電については、以前話が上がった時に良い話だと思ったのですが。。。風車の景観もすてきだと思います。生態系なども考慮しなければならないのだと思いますが、人が良くなることと、環境破壊とどこまで行っても相容れないのでどちらにとっても良いようになれずに2050年になってしまいますね。
- ○物価高騰の対策
○米の高騰の対策
○通町の方へ食品の店やドラッグストアを建設してほしいです。
○給付金を一年一回のペースでしてほしい。
○野菜等も高騰の対策
○光熱費等も高騰の対策
- ツキノワグマの駆除、安心して散歩が出来るようにしてほしい！！
- 市内の県道・市道沿いに植えられている街路樹について、また桜回廊で植えられた桜について、手入れができない所は、側枝だらけでみすばらしい状況で景観的にも良いと思えません。経費がかかって手入れができないのであれば、早々に撤去をして、他の事業へ集中するべきかなと感じています。緑を増やそうとお金をかけて植樹しても、その後手入れもせず景観を損ねるのであれば本末転倒と思います。
- ・米沢市ゼロカーボンシティについて、メリット・デメリットについてもう少し丁寧な説明をしてほしい。市の説明会はメリットのみを強調 例）太陽光システムと保険の関係
・昨今の異常気象と二酸化炭素の削減計画、エビデンスに基づく教育資料の充実
・原子力発電の活用（置賜地区内陸部への設置検討）
・地元雇用との相関（地元が儲かるシステム作り）
- 放置地について、市の物か県の物か決まっていなのにその土地に入り草刈りを行っていいのですか？ 前の地主より入っていいと言われ栗を捨てたが、市か県の土地とのことで今年から入っていません。勝手に入り木を切ったりしても良いのでしょうか？
- ・エネルギーを他国にたよっている日本でエネルギーを作れるようにしたい。
・温暖化がすすんでいるのでまず家庭では生ゴミを減らす。生ゴミは火燃ゴミに出さずコンポストを使って土にするなど…
・未来のために環境破壊をとめたいと思う。
- 知らないことが多すぎました。子どもにもわかりやすいワークショップ的なものをふやしてほしい（室内施設を活用して）
- このアンケートをWEBでできるようにしてほしい（QRコードの利用）。集計も楽になるんじゃないで

すか？

- 米沢でも外国人の方（ミャンマー、ベトナム）がお仕事で住まわれています。私の住んでいるアパートにも何人かを一緒に住んでいたが、日本の常識を知らない方が多すぎます。夜中も、とてもうるさい。（大声で話したり、アパートで夜中でもカラオケをする。）ゴミの出し方もやだら。生ゴミを外に捨てる。土足で家に入る。計画に合わないはなしかもしれませんが、今後も外国人が増えても住みやすい米沢でありたいです。
- プラスチックごみ 0 は国で方向を示し企業にプラスチックを使用しない作らないことからはじめたらよいと思います。
- 「CO₂の排出量をゼロにする」＝人の生命を絶つではないのか？人間が生きてる限り CO₂は排出される。ゼロではなく減らすと変更するべき。又、CO₂が排出されなければ植物の生存をどのようにするのか教えて欲しい！米沢に限れば街中の緑地化を推進すべき。観光地に緑が多い街を目指すべき。
- 生ゴミの水分によるエネルギー量が必要になるとニュースで見聞きました。ダンボールを使用した生ゴミの処理を米沢でも普及させてゴミ減量に努めて欲しい。
- まず、聞いているならわかりやすい言葉にして質問を作ってください。何が言いたいのか？何を聞きたいのか？※で説明文を書かれても、読んでもわからない。もっともらしい事を言ってやった気にならないでほしい。
計画に盛り込んでほしい内容
①興譲館高校のむかいの林の整備、木が茂ってトンネルになりそう！サルも出てきてコワイ。
②学童の月謝を市で負担することの廃止、一部の人しか得しない。みんなに意味のある市税の使い方を。
③二中はとても立派に建てているのに一中は駐輪場の屋根も作らないで野ざらし、不公平。
④①の整備にプラスして外灯を増やしてください。町内の予算でやれない事こそ、市税でやるべき！伝統ある興譲館なのに林からサルはでるし秋冬は外灯も少なく防犯的にも良くない。子ども達があこがれる高校はもっと魅力的な町であってほしい。いくら高校が素晴らしくても門の外が荒地ではだいなし。
市税が高い。職員はそんなにもらう良い仕事をしているのか？ 何かちがうと思う。公園であそぶ子が少ないのは遊びたいと思える公園ではないから。誰が作っているのですか？お給料をもらってもっと子ども達が遊べる公園を整備して下さい。上杉神社以外の観光地は作らないのですか？
5月の川中島の合戦ももっと米沢の高校全員に参加してもらうようにしてほしい。
地元の祭りも参加しないと地元愛が生まれないと思う。
工業の子どもたちだけでなく、今年のように他の高校にも参加をつるべき。何を言ってもきっと予算がない場所がないと聞くのに何も聞いてくれない何もかなわない。アンケートの意味はありますか？
- 猿が増えて畑になにも作れなくてこまっています。たくさん土地があっても、何も作れない。作りたくても電気さくとかお金がかかり年金生活者にはとてもできません。市の方から何んらかの助成して畑ができるようにしてほしいです。どんどん増えて人間にもなれてその内、家に入ってくるのではと思っています。
- ※水路、そっこうなどはコンクリートで作られています。地区毎に1度には出来ない事なので春早く、秋おそくと年に2回に分けて県いっせいに日日を分けて農家さんも大変な時代となってきています。水の流れが悪いと大雨になった場合水路に草や木くずが流れてきてつまってきて水は道路に上がってきても洪水になって危検に連がっていく長い年月ですので少しずつ「長い年月」ですから検討した方がいいではないでしょうか。県内一掃に行なった方がよいと思っています。決行、土、ゴミ、草でせつかくきれいな山形県なので実行していただきたいです。
- 脱炭素先行地域に認定したことで、地域住民にどのような変化がもたらせるのかより深く知りたい。子どもたちへの教育、親世代への教育を市が担ってほしい。（親子で参加できるイベントがあると良い）
- ○近年外国人労働者の方々が増えてきているのでしょうか。近くのアパートなどにも数人のグループで住んで、国旗を掲げたり大声で歌いあうなどの行動が目立つようになりました。国民性の違いなど尊重しながらとも思いますが大声や裸（上半身）での言動はとても気になり不安になります。今後そういった方が

への暮らし方のアドバイスの機会など折りにふれ設けていく必要性を感じます。お互いに心地よく暮らしていく為に。

○松岬神社の菱門橋が壊れたままになっているのは米沢市民としては心が痛みます。せっかくの桜の景観も損なわれ残念です。早急に直していただけると市民みんなが安心するのではないのでしょうか。

- 空家対策。道路（歩道の雑草の除去）
- ゴミの分別が複雑すぎる。わざとじゃなく間違っただけで袋に入れたのも置いて行かれるのは納得いかない。分別する気がなくなります。
- 米沢市はタバコのポイ捨てが多すぎる。何かしら対策しないと、とても残念な都市になると思う。
- 最近のニュースで飛行場に熊が出た。その時点でなぜ麻醉銃で眠らせてその後山へ、その段取ができないのか不思議
- 冬期間の雪対策について、公共施設、人の歩ける歩道の確保（ショッピングモール等も含む）をしていただきたい。安全確保、樹木、森林、道路との樹木のバランス、ゴミ対策等巡回していただき、整備に力をいれていただきたいです。住みやすい環境になりますように。
- 米沢市内にドラッグストアが多すぎる。米沢市に来る県外客からもドラッグストアが多すぎて気持ち悪いと言われている。城下町米沢がドラッグの町と化したと市民達の声。昔からある大切にしたい欲しかった建築物も取りこわされたり悲しい。会津や喜多方町など昔からの建物を大切に利用していたり、柔軟に昔の学校を使用しているのを見ると米沢はだいぶ遅れをとっているようにも見え、ポリシーのなさが住んでいて悲しくなる。これからは市にある文化的建物等、学校等を一般の方や事業に解放し、循環と次の世代に受けついでいけるような米沢市にしてほしい。
- 近くに空き家があり何十年もそのままです。今年は屋根もおちて木も生い茂っています。動物も入っていると思います。空き家対策もしているようですが早くなんとかしていただきたいです。
- 化学物質過敏症という症状の方増えていると聞きます。過剰な柔軟剤の使用等をひかえるなどまわりの人に対する配慮も必要かと思えます。学校や病院は特に必要かと思えます。無香料の物を探す方が世の中になっちゃいました。それでもなるべく無香料を使用しています。
- ・下水道のない住宅街に下水道をのばして下さい。計画がない地域の計画策定して下水道 100%を目指して下さい。
・地元の歴史遺産遺構を再整備して古き先人から学べるエコな生活環境を見直して下さい。
- 家族が山を所有しているが、何度も敷地内に不法投棄されている。そのたびに役所に相談しているが解決に至らず毎回自費で処理せざるをえない。啓発も効果がない。
- 最近、家庭用の生ゴミ乾燥機を購入しようとしていたのですが、その製品を購入する際に、お住いの地域を選択して検索すると地域によっては助成金で安く購入できることを知りました。しかし、米沢市では助成金を出していなかったため購入しないこととなりました。約6万の製品でしたが、広告(SNS)の事点で、「助成金を使えば3万代で買える！」といった表記だったため、助成金が無いと知って生ゴミ処理のために6万は出せないなという判断でした。
近くの市なら南陽市では助成金を出しているようでした。米沢市でも、助成金を出していただきたいなと思いました。あと、料金が少し高くていいので”もえるゴミの袋の45L”を出してほしいです。「大」はそのまま「特大(45L)」が欲しいです!!
出稼ぎでこちらにいるベトナム人が（一部でしょうが…）野良ネコを食べているようです。ベトナムでは一部の地域ではネコは高級食材のようです。ベトナム人を管理している方（日本人）が、ベトナム人の家に上がったところ、洗たく機でネコを溺死させていたようです。怒ったところ「ベトナムでは高くて食べられないんだ！」と言っていたそうです。

その発見者が通報したかは分かりませんが、今回このような機会をいただいたので報告させていただきます。ベトナム人の様子まで観察は難しいと思いますが、何かいい策があれば対策を打っていただきたいです。ベトナムでは溺れさせてから調理するそうです。

- 前述しましたが、山形大学米沢キャンパス周辺の公道及び川での路上喫煙と吸い殻のポイ捨てがひどいです。特に、山大東側に住む私にとって、臭いのせいで山形の厳しい夏の中、窓を開けられず、非常に困っています。原因の1つとして、大学内喫煙所撤去が挙げられます。改正健康増進法によって撤去されたものは分かりますが、撤去によって不健康を促進している現況です。つきましては、大学への喫煙所再設置を強く要望します。また、大学周辺のパトロール強化もお願いします。
- 個人でゴミひろいを何回かしたことがあります。いろいろなゴミの種類があり、分別するのが大変でした。我が家のゴミとして捨てることになるため家族には嫌がられて、もうするなと言われました。道ばたに捨てられているゴミは、風などにより川へ行き海に行き環境破壊になることをみなが理解していないと思う。ゴミひろい後のゴミを市にもっていき、捨てていただく処理の仕方があればとてもやりやすいです。
- 雪に対する除雪対策。道路に雪の壁ができれば（報告があったら）即座に排雪するべき。車道に出る際、事故が起こりやすいし、人間の姿がとにかく見えない。
- さる、くまの被害を何とかして欲しい
- 敷地内にビオトープを設置している
- 畑に野菜を作っています。今年は猿が来て、収穫間近の野菜をとられてしまいました。来年からの農作物を育てるのが不安です。若者に魅力ある米沢であって欲しいです。
- ○このたびのアンケートにより、市が未来に向けて環境問題について大きな変化をもたらそうとしていることを感じます。市民として、米沢は、いろいろ行ってもいてもいつも都会からは大きく遅れているように感じたり、今後も何も変わらないだろうと失望していましたが、前向きなこの取組みに大いに期待いたします。
○このように素晴らしい大自然の中にあるわが街の資質と風土を大いに生かして斬新で人々の心を1つにする環境保全の取組みを行ってください。30年前から長井市ではレインボープランを実施していますが、米沢でも市民のゴミ処理方法へのユニークな取り組みなど市民参加型で始めるのはどうでしょうか？
○人口減少は悲しいものの、少人数だからこそ取り組めるエコ対策もあるはずで。市民の意識と行動を大きく動かす取り組みをお願いします！！
○前年と同じことを無難に行って定年を待つ職員では市は変わらない。時代は大きく変化しているのに市民のために働いてください。
- 環境について関係するのかわかりませんが、冬の期間の道路の除雪後の整備をきちんとやってほしいと思っています。なぜなら、普段（冬以外）ですら、ギリギリ車が2台通れる幅を除雪によって道路のわきにためられてしまうと、2台通れるどころかギリギリ1台通れず渋滞になっていたり、朝の通学（特に中学生・高校生）・通勤がしにくそうなところが多いのでできれば少しでも改善していただければと思っています。除雪後の雪の処理が大変だと思いますが、少しでも良くなれば幸いです。
- 1.(3)の質問がここが何地区なのかわかりづらいので、改善したほうがよい。（だいたいの地図に色分けするとか）（地区がわかるサイトがあるならリンクやQRを載せるとか）
- 若い世代はスマホを使用する時間が長いので、紙でのアンケートだけでなく、QRコードなどをつけてインターネット上でも回答できるようにすると、このアンケートの回答率が上がると思いました。
- 処分が大変な大物家具・家電を無料で引き取りに来てくれるサービスを民間と協力してやってほしい。